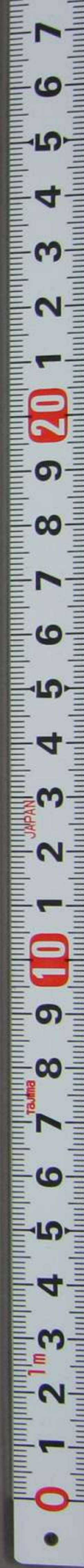




朝鮮國官立學校
概況

建陽元年(明治二十九年)十月調査



114
A 4233



朝鮮國官立學校概況

目次

- 一 漢城師範學校
- 一 小學校
- 一 外國語學校
- 日語學校
- 英語學校
- 法語學校
- 俄語學校
- 一 成均館

大正十一年四月贈

- 一、外西語學校(日語學校)仁川支校
 - 一、各校統計表
 - 一、学部現在高等官及雇外西人
 - 一、漢城師範學校官制
 - 一、外國語學校官制及規則
- 以上

朝鮮國官立學校概況

○漢城師範學校 位置、中節慶幸坊校洞

本校ハ開國五百三十九年九月(明治七年)政府改革ニ際シ、学部衙門ヲ新設セシ後、伺モテ創立シ、小學校員養成ノ目的ヲ以テ、生徒五拾名ヲ募集シ、卒業期限ヲ二年ト定メテ開校セシガ、其職員皆朝鮮人ナリ故ニ、万般施設ノ方法未ダ完カズ依テ昨年之ヲ中止シ更ニ一ヶ月卒業ノ速成科ヲ新設シ、日本人ヲ聘シテ主任教官トシ、授業ヲ始メ、第一期ノ募集生徒ハ、昨年末也ニ卒業シ、總數五十五名ノ内、卒業者廿七名、其内十三名ハ小學校員ニ任ぜラレ、現ニ各小學校ニ在職スリ、目下第二期ノ生徒

ヲ養成之居シリ、而シテ是亦今年十一月ヲ以テ卒業スルヲ豫定
ナリ、其科目及教官、生徒ノ員數等左ノ如シ。

教科目

漢書(論語)ノ修身ノ作文(漢文)ノ万国地誌及歴史ノ理学
一班ノ化学一班ノ地文学ノ算術(ノ數少數比例)

校長 学部編輯局長 李庚植

教官 日本人 高見 龜(年俸八角)

同 蔡任 葉 鄭雪 樓(年俸四百角)

副教官

判任 五等 ^{譯官} 韓義容(月俸二十円)

大阪鈴木製

判任 六等 朱道煥(月俸十五円)

外ニ書記一名

此内地理、歴史、理化学等、新科目、通稱ニ由リテ高見
氏之ヲ教授シ、其他ノ朝鮮教官之ヲ擔任シ、而シテ新科目、
教授ヲ眼目トシ、現任学部大臣申贊善氏就職後、大ニ此
等科目ノ時向ヲ減少シ、專ニ漢書作文(漢文)ヲ將大勵ム、全ク後
来ノ方針ト變更リ、且又從來ニ採ル一科ヲ置キ、軍部ノ下士官ヲ
招キ、兵式ニ採ルヲ教授セシメタリ、是又全ク之ヲ廢セリ。

現在生徒數

四十名

年令十八才より四十才に至る平均年令廿七八才、身分ハ
大抵中人ニシテ、地方ノ漢學學生多シ。

此生徒ノ官費及生計ニ一人ニ付一ヶ月六円宛支給シ、尚校内ニ
寄宿セシム。

經費

九ツ六千兩

總額

内

二千三百兩

教官其他小使等雇給

二千八百兩

生徒賄料其他紙筆墨等(一八六兩宛割)

九百兩

其他一切經費

大坂鈴木製

○ 小学校

小学校ハ、師範學校ヲ設置際、附屬小学校ヲ設ケテ始トシ、次ニ昨
年(開國五百四年、明治廿八年)八月頃ヨリ、京城内ニ六校ヲ設ケ、本年
(建陽元年、明治廿九年)八月又更ニ二校ヲ新設シ、現今合セテ九校
アリ、即チ左ノ如シ。

中部 漢城師範學校附屬校洞小学校

東部 養士洞小学校。養賢洞小学校

西部 貞洞小学校

南部 水洞小学校。銅岾小学校

北部 梅洞小学校。安洞小学校。齊洞小学校

現在生徒

總數五百三十四名、一校平均六十人位、卒業期限、尋常科三年、高等科三年ト定メ、現今高等科ハ師範學校附屬小学校ニアルニテ、他ハ皆尋常科生徒トス、生徒年令ハ、六才以上十五才ノ規定ナレドモ、實際ハ、六才以上廿二歳迄アリ、才内十四五才ノ者多ク、身分ハ中人多シ、何レモ無月謝、各籍ハ悉ク貸與ス、授業時間ハ、五日六時間アリ

教員

一校ニ多クハ三人、少キハ一人モアリ、大抵二人宛アリ、此ハ師範學校第一期ノ卒業生ナリ。

大改鈴木製

教科目

漢文(千字文、童蒙訓、先、點字、蒙要決、何レモ漢文)、小学(孟子類)習字(漢字、國文)、作文(漢文)、修身(五倫行實)、小学(地理)(学部編輯局新刊朝鮮地理)假名、文、文、歴史(同上朝鮮歴史)
体操、現学部大臣就任以來之ヲ廢シ、又嘗テ日本流ヲ一科目ニ加ヘ、此、コト、昨年来ニ之ヲ廢セリ、又漢書科、如キハ、從来学部ニ編輯セシ小学漢本類ヲ用ヒ專ラ假名、文、文、ヲ教授セガ是、又現学部就任以來之ヲ廢シ、專ラ漢文ヲ將大勵セリ。

經費

教員ノ給料ハ大抵十四五円ニ生徒一人ニ要ス筆紙(墨等)費用ハ一人一月四拾錢位ナリト云ハク

總額凡ソ 五千五百円

一校平均 六百円

○外國語学校

外國語学校ハ開國五百三年夏(明治廿七年)ノ改革前より外部御門ノ所轄ニシテ日英清三語学校ノ設ケアリキ改革ノ際之ニ學部御門ノ所轄トシテ實際清語学校ヲ廢シ日英二校ナリキ今建陽元年春(明治廿九年)更ニ法俄ハ二校ヲ專ニ現今四校存立ス

日語学校

位置 中部慶幸坊校間

八政鈴木製

本校起源ハ開國四百九十七八年(明治廿三年)頃より内朝鮮官人高永喜(現外部協弁)氏等ノ尽力ト外ハ時日本公使(故近藤真鋤)領事 杉村濤(現台湾民政局長)務官氏等ノ斡旋ト由テ漸ク開國五百年(明治廿四年)九月ヲ以テ創立ノ運ニ到リキト當時韓廷ハ南泳駿氏勲道者シ時代ニ甚カク好キ新テ業ヲ好マズ僅ニ南山山麓日本公使館ノ傍ニ^{昔取}某館一校舎ヲ設ケ日本ヨリ文科大學卒業生岡倉由三郎氏(現鹿児島高等中學校造士館教授)ヲ招聘シテ教官ニ生徒三十人許リ募集シテ之ヲ附托シ政府ニ放任シテ殆ハ閑セバ豫定ノ經費モ定時ニ支出セザル程ニテ當局者ノ困難一方ナリキ五十二年九月(明治廿六年)岡倉氏條約期滿ヲ解任歸期ニ長嶋

出次郎氏(現主任教官)後任者トシテ、其業ヲ繼續シ来リ、一昨年改革ノ気運ニ際シ今ノ所(校同)ニ移シ、職員ヲ増聘シ生徒ヲ増募シ稍々規模ヲ廣メタルモノナリ而シテ、昨春初ハ本校最盛ノ時期ニシテ、生徒ノ負數殆ク百五十名ニ達シ、ガ爾來政変ノ為ニ常ニ動搖シ申送ニテ或ハ退学シ或ハ就官シ又ハ日本留學ヲ命ジタル者等アリ、現時再ハ舊時ノ有様ニ復セリ。斯ノ如クニシテ創立以來入學生徒ノ總數ハ已ニ三百余名ニ及ビタルナリトモ未ダ定規三年ノ課程ヲ履修シ全ク業ヲ了スルモノナシ、他ノ外国語學校モ固ヨリ然リ、是レハ一政変ノ為、勸修館ニ受ルノ甚シキトハ朝鮮考年ノ如キ、薄志弱行ノ徒ガ、三年以上ノ才月ヲ以テ校ニ費スル如キ、日取モ難ニズル處ナリ、由ル以テ此等諸學校

大改鈴木製

生徒ノ目的ハ一ニ官吏タルことスルバアリテ、以テナル微職トモ苟モ仕官ノ道セハアリ、直ニホテオリ、學業ノ成否ハ固ヨリ向テ所ニ非ザルヤ、故ニ當局者ハ近來此弊ヲ防ガシテ、學部令ヲ発シ一方於テハ在学中ノ生徒ヲ、他方ニ各部官吏ニ採用スルヲ禁シ一方於テハ、退學者者ニ罰金ヲ科スル制(外国語學校一ヶ月二円五拾ギ、師範學校一ヶ月二円五十ギ、小學校一ヶ月一円)割リ以テ、在学中ノ費用ヲ償還セシムル法ヲ定メテ、是ヲ未ダ充分ニ履行シ難キハ憾ミナリトモ、其分カ其効ナキニ非ズ、而シテ後來本校生徒中、最上級即チ三年級(即チ卒業前殆ト半年乃至一年)迄業ヲ修メル者、一昨年は於テ八人アリ、是レハ同年九月改革ノ際悉ク各書官、翻譯

官、主事等ニ採用シ、又昨年春、於テ六人アリ、是ハ日本尚學ニ命ジタリ（今ハ皆帰國セリ）而シテ現今二年後期生九名アリ、此（團）生徒ニ於テ始テ本校卒業生ト出ス、望ミアルガ如ク科目及生徒ノ負數等尤ノ好シ。

教科目

會話。讀唇。翻譯。唇取。万国地理。万国歴史。修身。理化学一班。算術（分數比例）。作文。体操。

二年後期生現在教科目

讀唇東京編。高等小学讀本八。地理文社編。政治地誌三。歴史大和建樹代（新体万国歴史上）。修身能勢幸民（高等小学修身卷七）。翻譯（和文韓訳、韓文和訳）。

八政鈴木製

書取。算術（分數）。演說（日語）。体操（兵式体操）。

生徒數

二十六名

二年後期生 九名
二年前期生 二十七名

内日々出席者平均廿七八名

年令、十六七才以上二十才迄三、二十才前後ノ者多數ヲ占、身分、中人多シ、他ノ外国語學校ト同ジク、何レモ無月謝、書籍、貸與、之ハ筆紙墨、供給與ヌ、寄宿舎ナク皆通學トス。

英語學校

位置、農商工部衙門後旧電信局跡

本校之ヲ日語學校ニ比シ、其創立、又ニキト同時、其變更モ又

甚之方キ、今其沿革概要ヲ叙セシム。先づ之ヲ三期ニ分ツテ必要トス
初メ今ヲ距ルテ十四年前、即チ開国四百九十二年（明治十二年）外衛
門ニ於テ、英人ハリファックス（現英語学校教員）氏ヲ聘シ、英語補習
養成ノ目的ヲ以テ、生徒二十余名ヲ募集シ、期限ヲ三年ト定メテ、
授業セシメラル。之レ實ニ朝鮮ニ於ケル英語教育ノ濫觴ニシテ、
現今朝鮮官人中、聊カ英語ヲ解スル者凡レ此トシ養成セシメタル者ヲ
シトス。已ニミテハリファックス氏ハ任朝滿チテ日本ニ廻キ、生徒中用ニキ者ハ相當
官吏ニ任用シテ、且此業ヲ畢リテ、之レ本校第一期ノ經過ナリ。其後天津
條約ノ結果ニ由リ、朝鮮政府ハ、米國士官ヲ聘シテ、練武公院（士
官学校）ヲ創立シ、練兵ヲ行ハシムルニ際シ、英語学校再興ヲ必要ト

スルノ議アリテ、米國人ギルモア、バンカー、ハルバート（此時二人ハ總督府神
学校ノ高級生ナリキ、バンカー、ハルバートノ二人ハ、今宣教師トシテ当地ニ
在留セリ）ノ三氏ヲ聘シ、練武公院ニ對稱シテ、育英公院ト号シテ
開校シタリ、之レ實ニ開国四百九十五年（明治十九年）九月ナリキ。
爾后教師ハ故々其職ヲ勵シタリテ、生徒ハ新陳交代シテ、業
ヲ全クスルモナク、政府當該官吏ハ、之レニ校金ヲ私用シテ必要ノ經費
ヲ支給セズ、爰ニ於テ、ギルモア、ハルバートノ二人ハ、居ルルニ三年ニシテ、絶
望ノ詠、先ヅ歸米シ、バンカー一人殘リテ、僅ニ其業ヲ継續シ来リ、是又
開国五百二年（明治廿二年）ニ至リ、任期滿チテ歸米ノ途ニ就キタリ、然レニ
此際ニシテ、バド氏ハ、練武公院ヲ止メ、居リテ、暫ク入ッテバンカー氏後ヲ襲

科目ノ概要ヲ左ノ如シ。

現在教科目

習字。會話。讀本。作文。文法。算術。翻譯。並通
字一冊。口授。体操。

生徒數

百十名

之ヲ五級ニ分ツ

内日々出席者九ツ百名ナリ

本年令十六才以上廿八才迄、平均年令十九才、身分其他「日
語学」同じ。

法語学校

俄語学校

位置、中野壽進坊磚田

此、二校ハ最近、設立ノ際、前者、今建陽元年一月（即法廿九年）以
後者、同年五月ヨリ、兩校セシモ七ハ其教員所モ六未カ會話ノ初
歩ニ過ギズ其現在生徒ハ尤ノ如シ。

法甲三人

日々出席者

三十五人

年令十五才ヨリ十三才迄、平均年令十七才

俄 四十人

日々出席者

三十名

年令十六才ヨリ四十才迄、平均年令廿二才

又各該学校ノ職員及ビ經費ノ概要ヲ左ノ如シ。

職員

外国語学校長 学部学務局長 韓昌洙

日語学校

主任教官 日本人 長島品次郎 (月俸 一〇〇円)

教官 吉見 正 (三〇)

副教官 判任上等 玄善運 (二〇)

体操教師 軍部下士官二名

英語学校

主任教官 英人 タクリ子、オム、エフ、ハチソン (月俸 二八〇)

教官 英人 マライ、ハッファックス (一五〇)

副教師 朝鮮人 四人 (内月俸二十四円一人 十五円三人)

大政館木製

体操教師 英公使館守備下士官一人

法語学校

教官 法人 イー、マリーニル (月俸 一三〇)

副教官 朝鮮人 一人 (二五)

体操教師 俄校と同じ。

俄語学校

教官 俄人 エヌ、ピルコフ (一五〇)

副教官 朝鮮人 一人 (一五)

体操教官 俄公使館守備兵数名

〇 経費

金七千円

英語学校費

由

六千円

教官其他雇給

金三千円

日語学校費

内

二千二百円

教官其他雇給

法、俄二校の租、日語学校と同じ。

○成均館

本館ハ孔子ヲ崇ムル所ニテ古來設置セラレ孔經ヲ講明所ナリ、
恰モ日本舊幕府時代ノ聖堂ノ如シ、一昨年改革ノ際之ヲ廢セシ

大阪鈴木製

トシタルモ守旧派ノ人々甚ク又對シテ力ニ及バズ、僅カニ其ノ名ヲ存シ置キ
テ、現在大目申、箕善氏就職以來之ヲ復旧シ益々盛大ナラシメ
テ、企圖ニテ頗ル尽力シ、今春生徒甲名ヲ地方ノ儒生中ヨリ募集シ、
寄宿舎ヲ設ケ、官費生トシテ之ニ居ラシメ、專ラ漢字ヲ講習セシメ、
シリ、其職員、科目、生徒数及ビ經費ノ概畧左ノ如シ。

館長

奏任上等

徐相鳳

(月俸四〇円)

教官

同

韓政愈

(同上)

生徒員数 甲名

平均年令

四十才

教科目

經書。歴史。作文。算術。

經費 總額 二千円

仁川外國語學校 (日語學校) 支校

本校は、昨午政府改革ノ氣運ニ乘シテ、仁川府監理使ト、同港駐在ノ日本領事ト企圖ニ成リ、昨午即チ開國五十年ノ時、三月、日本人岩崎原太郎氏ヲ雇聘シテ、教官トシ、生徒三千人ヲ募集シ、南校セカ、向テ、學部總務司ニ交渉シ、其結果ニ由リ、日語學校、支校ト定メ、純然ノ私立學校トシテ存立スルモナリ、其現狀左ノ如シ。

教官 日本人 岩崎原太郎 (年俸 六〇〇円)

副教官 朝鮮人 一名

大阪鈴木製

生徒員數 二十五名

教科目

會話、讀書、翻譯、算術、書寫、体操

經費 一千四百円

更ニ讀者ノ便宜ヲ許リ、以上舉ケル所ノ諸要目ニ就キ、各校之ヲ對照スルハ、左ノ如シ。

校名	教官員數	生徒員數	同平均年令	同身分	授業時間	經費	創立年月
英語學校	六人	二人	一九	中人	四時乃至五時	七〇〇円	開國四十九年(明治二十六年)十一月
日語學校	三	三六	二〇	、	、	三〇〇〇円	同廿四年

法語學校	二	四二	一七	〃	〃	〃	〃	建陽元年 (明治九年)
俄語學校	二	四〇	二二	〃	〃	〃	〃	前同
師範學校	四	四〇	二八	〃	〃	六〇〇	〃	同治三年 (同廿九年)
成均館	二	四〇	四〇	〃	〃	二〇〇	〃	未詳
仁川學校	二	二五	未詳	〃	〃	一四〇	〃	同治四年 (同廿八年)
少學堂	九	二〇	一四	〃	〃	六〇	〃	同治七年 (同廿九年)
一校平均	九	二〇	一四	〃	〃	六〇	〃	同治九年 (同廿九年)

本校内師範學校及成均館純然丸官費及生徒、生徒、校内ニ宿寮セシメ他ハ皆通學セシム但シ何レモ授業料ヲ徴セス教科用書ハ貸与シ筆代墨ヲ給與ス。

○本表教員費教中、体操教師之ヲ算入セズ。

八改鈴木製

以上記述シ畢リ九際、学部大臣申賀善氏俄ヲ其職ヲ罷スルニ其考儒學経緯ト題ス書中、外国排斥ノ趣意アリ故ニ(官内府掌禮院卿岡種默氏入ニ其後ヲ龍衣ゲリ、今参考ノ為メ、学部現任ノ各官等官ヲ左ニ列記ス。

大臣	勅任一尋	岡種默	四〇〇〇	三二〇〇
協弁	勅任三尋	岡高錫	二二〇〇	一七六〇
兼外務省 子務局長	兼外國語学館長 兼主任三尋	韓昌洙	二二〇〇	九六〇
同編輯局長	師範学校長 兼主任三尋	李庚植	二二〇〇	九六〇
同秘書課長	奏任四尋	洪禹勸	一〇〇〇	八〇〇
同會計課長	奏任四尋	李海漢	一〇〇〇	八〇〇

同文書課長	奏任少将	尹惠学	六〇〇	四八〇
觀察所長	奏任少将	李敦修	一〇〇〇	八〇〇
同技師	奏任少将	劉漢鳳	六〇〇	四八〇
成均館長	同	徐相鳳	六〇〇	四八〇
同教官	同	韓致愈	六〇〇	四八〇
師範學校教官	同	鄭雲瓊	六〇〇	四八〇

中外各局員課ニ属スルモノ(判任属員)總計十五人アリ。
 現在当国高等官ノ俸給ハ政費節減ノ爲メ定額ノ十分ニ
 ヲ減ジテ支給スルノ事故今定額ト實給額トヲ區別シテ之ヲ
 スル前項ノ如シ。

八政鈴木製

更に再々雇外國人ヲ列記スル左ノ如シ。

日語學校教官	日人	長島只山次郎	二二〇〇	年俸
同副教官	〃	吉見正	三三〇〇	
僕城師範學校教官	〃	高見達	八〇〇	
学部編輯局翻譯官	〃	麻川松次郎	八〇〇	
仁川日語學校支校教官	〃	岩崎厚太郎	六〇〇	
英語學校教官	英人	タルニ、エ、エフ、ロビン	二八〇	月俸
同	同	エライ、ハ、フ、グ、ス	一五〇	
俄語學校教官	俄人	エヌ、ベルコフ	一五〇	
法語學校教官	法人	イ、イ、マ、リ、テル	一三〇	

其の参考考ふる人、漢城師範学校及び外国語学校ノ官制ヲ左ニ挙ガリシ。

○漢城師範学校官制（原漢文）

第一條 漢城師範学校ノ校ニ教員ヲ養成スル所トス。

第二條 漢城師範学校ニ本科連成科ノ二科ヲ置リ。

第三條 本科ハ二年ヲ以テ卒業期トシ、連成科ハ六月ヲ以テ卒業期トス。

第四條 漢城師範学校ニ附属小学校ヲ置キ、兒童ヲ教育セシム。附属小学校ニヨリ本科高等科ノ二科ヲ置キ、各科三年ヲ以テ卒業期ト定ム。

第五條 漢城師範学校ニ左記ノ職員ヲ置ク

学校長一人、兼任。教官二人以下、兼任或ハ判任。

副教官一人、教員三人以下、判任。書記一人、判任。

第六條 学校校長ニ学部長兼書記官ヲ兼テ、学部大臣ノ命

ヲ以テ校務ヲ掌理シ、所属職員ヲ統督ス

第七條 教官ハ生徒ノ教員ヲ掌リ、副教官ハ教官ノ職

務ヲ補助ス

第八條 教員ノ附属小学校ノ兒童ノ教員ヲ掌ル

第九條 書記ハ学部長ノ命ヲ以テ兼テ、学校長ノ命ヲ以テ庶

務會計ニ従フ

第十條

本科、速成科及び附屬小學校、學課程度
ハ學部大臣之ヲ定ム

第十一條

本令ハ開國五年四月一日ヨリ施行ス、

〇、外國語學校ノ校官制

第一條

外國語學校ハ主として諸外國ノ語學ヲ教ヘ兼て普通學ヲ授クル所ナシ

第二條

外國語學校ニ於テ、教授ス可キ外國語ノ種類ハ時宜ニ申シ學部大臣之ヲ豫定ス、

第三條

學部大臣ハ必要ニ應ジ外國語學校ニ支校ヲ地方ニ置クヲ得、

第四條

外國語學校ニ左記ノ職員ヲ置ク、

校長一人、兼任。教官四人以下、兼任或ハ判任

副教官五人以下、判任。書記官三人以下、判任

第五條

校長ハ學部大臣ノ命ヲ承ケテ校務ヲ掌ル、
理三、所屬職員ヲ監督ス

第六條

教官ハ生徒ノ教授ヲ掌リ、副教官ハ教官ノ職務ヲ補佐ス、

第七條

書記ハ上官ノ命ヲ承ケテ庶務會計ニ従フ、
支校ニ置クハ、毎支校ニ左記ノ職員ヲ置ク、

第八條

支校長ハ兼任或ハ判任ノ教官二人以下、兼任或ハ

判任。副教員三人以下判任。書記二人以下判任
 第九條 支校職員ノ職務ハ第五條第六條第七條ニ同じ
 第十條 学校長及書記ハ學部奏判任官之ヲ兼ス
 支校長及書記ハ地方官中之ヲ兼任ス^エルヲ得、
 第十一條 教員及副教員ハ外国人ヲ雇用スル之ニ先
 ル^テヲ得、又各教員ノ學部大臣ニ須ニ應^ジル便宜
 之ヲ定ム。
 但シ雇外国人ノ待遇ハ教員ニ準任トシ、副教
 員判任トス

附言

右官立学校外、當時京城ニ於テ私立之学校トシテ日本海
 外教育會ノ設立ニ係ル京城学堂(私立漢学堂)及ビ米人ノ判
 任^スル、主^トシテ管^スルセル培^ル裁^ス学^ス堂(私立英語学校)ヲ始^メトシテ、佛
 米諸国官教員ノ設立セリ、宗教学校モ亦少^クナ^リ、其概
 況ハ更^ニ別冊ニ詳説ス^ルベシ

八坂鈴木製